

平成30年門真市教育委員会第10回定例会

開催日時 平成30年10月24日（水） 午後3時

開催場所 本館2階 大会議室

議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 承認第6号 臨時代理による事務処理の承認について
(門真市教育委員会事務局人事について)
- 日程第4 議案第30号 平成31年度小学校使用教科用拡大図書の採択について
- 日程第5 諸報告

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第5まで

出席委員

教育長	久木元 秀平
教育長職務代理者	長澤 信之
委員	土川 好子
委員	高橋 元
委員	松宮 新吾

事務局出席職員

教育次長	森本 訓史
教育部長	満永 誠一
教育部次長	水野 知加子
教育部総括参事	寺西 照之
教育部教育総務課長	中野 康宏
教育部学校教育課長	三村 泰久
教育部学校教育課参事	高山 拓也
教育部学校教育課参事 兼教育センター長	峯松 大輔
教育部社会教育課長	牧菌 友広
教育部図書館長	西中 敏美
こども部保育幼稚園課長	花城 勉

久木元教育長 開会宣告 午後 3 時

日程第 1 会議録署名委員の指名

久木元教育長より 土川 好子 委員を指名

日程第 2 会期の決定

本日 1 日と決定

日程第 3 承認第 6 号 臨時代理による事務処理の承認について
(門真市教育委員会事務局人事について)

説明者 森本教育次長

人事異動内容については、別添資料のとおり。

[全委員異議なく、承認]

日程第 4 議案第 30 号 平成 31 年度小学校使用教科用拡大図書の採択について

説明者 峯松学校教育課参事

議案書の 3 ページをご覧ください。

現在、市内小学校に、視覚に障がいがある児童が在籍しており、31 年度につきましては、この児童が学習するにあたり、「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」に基づき、教科書会社が発行している拡大教科書の使用が新たに必要となりました。そのため、平成 31 年度使用教科用図書として第 7 回定例会において採択いただいた発行者が発行している拡大教科書を、学校教育法附則第 9 条に規定する教科用図書

として採択をお願いするものでございます。教科書種目一覧は4ページのとおりでございます。

長澤教育長職務代理者： 採択することに、異議はありませんが、2種目だけというのは、珍しいなと思いました。何か特別な事情があったのか。つまり、他の教科は一般の採択されている教科書でいけるのかどうか教えてください。

峯松学校教育課参事： 当該学校からは、児童の視力が一学期と比べ、二学期に低下してきたことで、当初は他の児童と同じ教科書を使う予定をしていたのですが、拡大教科書を使うことになったということです。その際、まずは字が小さく、さらに支援学級でもよく使用するというので、ひとまず31年度は国語科と地図帳の拡大教科書で様子を見ていくということ、学校と保護者で話し合っただけで決めたということ、今後、他の教科も必要になってきたら、さらに上の学年で考えていくと聞いております。

長澤教育長職務代理者： はい、分かりました。

[全委員異議なく、可決]

日程第5

諸報告

久木元教育長より、諸報告については報告をした後、質疑応答となる旨説明があった。

番号1 門真市図書館サービス計画（素案）に係るパブリックコメントの実施について

説明者 西中図書館長

諸報告の1ページをご覧ください。

図書館サービスのあり方を明確にしサービスの向上を図るため、めざすべき方向性やサービス内容などを示した「門真市図書館サービス計画」の策定作業を進めております。

今回パブリックコメント手続きにより、計画素案に対する意見

を募集するものです。

「2. 提出資格」、「3. 提出方法」については、規程に基づき実施するものであります。

「4. 募集期間」といたしましては、11月19日から12月8日までを予定しております。閲覧場所としましては、市内の一般的な公共施設を設定しております。

パブリックコメントにより意見が出された場合、その意見に対し修正を行うかどうかの検討を行った上で、意見に対する市の考え方を後日公開することとなっております。

パブリックコメントの概要につきましては、以上でございます。

続きまして、計画（素案）の概要についてご説明申し上げます。別添資料「門真市図書館サービス計画（素案）」をご覧ください。

表紙を1枚めくっていただきまして目次をご覧ください。

本計画は、第1章から第5章まで、そして資料編で構成しております。

具体的な内容といたしましては、1ページの第1章では、「計画の策定にあたって」として、計画策定の背景や位置づけなどを記載しております。

続きまして、2ページから8ページまでの第2章「図書館の現状と課題」では、図書館の概要、現状、図書館のサービスに関するアンケートの調査の結果・分析、図書館の課題を記載しております。

続きまして、9ページから10ページまでの第3章「基本理念と基本方針」では、基本理念や基本方針、計画の体系を記載しており、基本理念を、「広がる世界 未来につながる図書館へ」と掲げております。

続きまして、11ページから17ページまでの第4章「施策と取組」では、3つの基本方針に基づく施策、取組内容を記載しております。

続きまして、18ページの第5章「計画の実現に向けて」では、計画実現のための体制、進捗管理などを記載しております。最後に19ページ以降に資料編として図書館のサービスに関するアンケート調査結果などを掲載しております。

番号2 平成31年度門真市立幼稚園児の再募集について

説明者 花城保育幼稚園課長

諸報告資料の2ページをご覧ください。

31年度門真市立幼稚園児の募集につきましては、30年9月3日から10月10日まで実施いたしましたが、応募者が定員に達しなかったことから、今般、再募集に至ったものであります。

詳細といたしましては、大和田幼稚園の4歳児、60人の定員に対し18人の応募があったことから、残る42人の再募集としております。また、5歳児、70人の定員に対し4人の応募があったことから、現4歳児の22人を加えたうえで、定員から差し引いた44人を募集人数といたしております。

なお、願書受付の期間は、当初の募集期間が終了した翌日の10月11日から募集人数に達するまでといたしており、随時、大和田幼稚園において受け付けております。今般の再募集に係る周知につきましては、広報かどま11月号及びホームページにその内容を掲載するとともに、大和田幼稚園や各小学校、市内公共施設等に引き続きポスターを掲示いたしております。

—すべての報告が終了—

長澤教育長職務代理者： 大したことではありませんが、図書館サービス計画についてですが、パブリックコメントのための素案ということですが、日付が31年3月となっておりますが、手続き的にこれでいいのかどうか。3月という表記を今の時点で市民の方に見てもらうのが良いのかどうか。例えば今の30年10月で素案を出してとか手続きの問題ですが。

西中図書館長： 今後2月の教育委員会で上程し、決定させていただきますので、3月とさせていただきます。

長澤教育長職務代理者： 今、市民の方に対して出すので、それでいいのかどうかですね。

西中図書館長： パブリックコメントは今出しますので、表記が誤ってありました。

長澤教育長職務代理者： 30年の今の時期の方が良いのではと思います。3月に決まって

いると言われた時に説明が出来ないと思います。

西中図書館長： すみません。企画課とも話をして変更させていただきます。

久木元教育長： それではその辺はよろしくお願いします。

松宮委員： 図書館の3本柱と具体的な施策を出していただいたと思いますが、13ページのレファレンスサービスの充実とありますが、これは重要な取組課題になっていると思います。地域全体のもう一つの図書館のコミュニティ、小中学校の図書館も一つの分室のような捉え方もできるような具体的な施策が、国会図書館などのもっと具体的な施策が出てくるんですが、この辺りに関して、もう少し具体的な取り組みをご紹介いただければと思いますが。

西中図書館長： 小中学校に関しましては、今現在、小学校の方に出向きまして「えほんのひろばとか子どもたちの読書活動を推進するための取組として開催しております。そして、第2次子ども読書活動推進計画を28年3月に策定して、以降は学級配本事業ということで、学期初めに学校ごとに配本し学期末に回収するという学級配本事業も行っております。小中学校に関しましてはそのような取組を行っております。今後も引き続き学校との連携ということでやっていきたいなと思っております。

松宮委員： いわゆる図書館のネットワーク化を図ることは非常に大きな意義があると認識しています。例えば門真市の市域の近くにある図書館、それから門真市民プラザにある図書館、だけではなくて、その他地域がもっている財産、小中学校の蔵書とか。そういったものは将来的にネットワーク化されていくんだろうかという、レファレンスサービスというのはそういうベースに基づいて構築されていくのかなというその辺りの将来的な構想があればなど、実はそのページの、(3)レファレンスサービスの充実の上のところにあるICTの活用ですね。これは、単独の図書館として、ICTの貸し借りとかそういったものを楽にするというだけではなくて、もう少し広域の教育サービスを受け入れているようなその辺りも、もう既にこの新しい理念、基本理念、ひろがる世界、未来につながるという辺りを意識されて作られているのかなと、なるほどと思

い、ひろがるつながる、つながるということでレファレンスサービスからネットワーク化へというところをご紹介いただければと思います。

西中図書館長： 今現時点では、各地域とか、各小学校とかのネットワークについてはそこまで、具体的な内容は打ち出してはおりませんが、今後の検討課題だとは思っております。

松宮委員： はい、ありがとうございます。

久木元教育長 閉会宣言 午後 3 時15分

門真市教育委員会会議規則第24条の規定により署名する。

門真市教育委員会

教 育 長 久木元 秀平

署名委員 土川 好子